



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10)
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成30年2月13日(火) 第2835回 例会 (本年度第28回)

2月27日(火)	ゲストスピーチ 鶴岡青年会議所理事長 佐藤 航氏
3月6日(火)	ゲストスピーチ 菅 秀二氏
3月13日(火)	移動例会⇒16日(金)うどん・そば打ち家族例会 会場:華夕美日本海 17時
3月20日(火)	RI規定休会



Eメール@tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ@http://www.tsuruokarc.org/



皆出席 今月の皆出席者はおられません。

会長報告

会長/木村 節

本日は、モルドバ共和国日本大使ブマコフ・ヴァシレさんをお招きしております。ようこそお出で頂きました。ブマコフ大使のお話を十分お聞きしたいと思っておりますので、本日の会長報告は以上といたします。

幹事報告

幹事/佐藤 詩郎

○ガバナー事務所

クラブ奉仕委員会・ロータリー情報小委員会・職業奉仕委員会合同セミナーについてガバナーよりメッセージ

○山形北ロータリークラブ

創立50周年記念ゴルフコンペのご案内
日時:4月16日(月) 8時集合
場所:蔵王カントリークラブ

モルドバ共和国について

モルドバ共和国 日本大使 ブマコフ・ヴァシレ氏

皆様こんにちは。今日は貴重な例会に呼んでいただき、大切な時間を割いていただいて光栄に存じます。

今日は、私の国の短いプレゼンテーションをします。なぜなら私の国はとっても若い国で、独立してからまだ26年くらいしか経っていません。以前はソ連に支配された国でしたが、今やっと独立できました。このプレゼンテーションを始める前に私の友人小川さんが短いDVDを作ってくれましたので、是非皆さん見てください。その後のプレゼンテーションがわかりやすくなると思います。



～DVD鑑賞～

これらの映像は、毎年行われるワインフェスティバルの様子です。民族の歌や踊りを踊りながら皆楽しくその日を過ごし、たくさんワインを飲んでいきます。

モルドバはとっても古い国で、以前はルーマニアと一緒にいました。同じ国でした。2000年前はローマ帝国の一部でした。そして、1812年ロシアに初めて支配されました。

我々モルドバの言語は、ルーマニア語です。このルーマニア語はラテン系の言葉です。ローマ帝国起源の言語ですから、イタリア語、フランス語、スペイン語とすごく似ています。1991年にソ連から独立しました。今は別々の国ですが、言葉も伝統もルーマニアと同じです。歴史を振り返ってみると、二つの大国、ロシア皇帝とオスマン帝国に何回も支配されました。

国の面積は33,843平方キロです。人口は以前は400万人以上でしたが、現在は出稼ぎのせいで人口が減り、356万人になっております。ソ連時代は、ソ連の他の国々と比べて人口密度が一番高かったです。距離的には、遠い感じがしますが、鶴岡と色んな繋がりがあって、距離が少しずつ縮んできていると思います。

日本は、早い段階で、モルドバの独立を認めましたので、去年はちょうど国交樹立25周年の節目の年にあたりました。この25年間、日本はお金の面でも、技術的な面でも多大な支援をしてくれました。本当にこの25年間は独立直後で大変な時期でした。だからこそ日本の支援はとても助かりました。

モルドバの地図を見ますと、ちょっと葡萄の房と似ています。実は、1人あたりの葡萄畑の面積は世界で一番です。友好的な国々の人は、モルドバに行

出席報告

会員数	31名
出席	21名
出席率	72.41%
前回回確定出席率	82.76%

RI 会長 イアン H.S. ライズリー ■ 地区ガバナー 鈴木 一作

■ 会長/木村 節 ■ 副会長/菅原成規 ■ 幹事/佐藤詩郎 ■ 会長エレクト/武田啓之
■ 会報委員会/阿蘇司朗・菅原成規・迎田 健・前田 優・真島吉也

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

くためにビザは必要ありません。

モルドバの首都はキシナウです。これは夜中の映像です。東京のネオンには負けますが、私たちもちょっと頑張っています。

宗教はキリスト教です。95%の国民はキリスト教徒です。正確にいうとギリシャ正教会です。私たちは長い間オスマントルク帝国と戦ったので、トルコの教会は一つもありません。

これは農家です。私たちの国は農業大国です。ここでは穀物を栽培しています。このようにモダンなトラクターも映像にあります。日本がトラクターをモルドバに提供してくれたプログラムがありました。

私たちの生産する果物とか野菜はとても自慢できます。無農薬とか有機農業で作られた物が多いです。これは、私たちのさくらんぼです。1ケースの値段は、8キロ入って東京の0.5キロと同じ値段です。これはプルーンです。ドライプルーンはとっても健康に良いと言われているので、ほとんどのドライプルーンはヨーロッパに輸出されています。私たちのプルーンはとても甘いです。あとリンゴもいろんな品種をたくさん作ります。以前はほとんどロシアへ輸出されましたが、関係が悪くなった途端に、制裁としてロシアがモルドバからの輸入を禁止しました。私たちもとっても驚きました。

これは秋の風景です。モルドバの秋も綺麗です。私たちの自慢は葡萄です。私たちは肥沃な土壌に恵まれて、太陽も長い間葡萄を照らしているので最高に葡萄栽培には適しています。一番競争力のあるもの、それはワインです。他の物は競争力の面で日本とは比べ物にならないですけど、ワインは唯一どこの国とくらべても自信を持っています。以前、ソ連で飲まれた6割のワインは全部モルドバで作ったものです。私たちはEUに入りたいのですが、それにロシアが反対しています。皆さん想像して下さい。もし60%の輸出量がある日突然亡くなったら、どんな国でも大変な事になります。

このワイン産業は古い歴史があり、5000年前から作られています。色んなコンクールでモルドバのワインは金賞を取っています。

私たちが感謝を伝えたいのは、実は最近どんどん日本に輸出されるワインの量が増えている事です。土壌も気候もとってもいいし、我々が農薬を使う量はフランスの半分です。雨がそんなに降らないから葡萄が病気になるのです。ワインを飲むように最近PRしています。なぜなら、他の悪い質のアルコールを飲むよりワインは健康的な飲み物だからです。モルドバ人は、さっき言ったとおりルーマニア人と同じ民族です。とても似ていて、陽気に飲んだり、踊ったり、笑ったりが大好きです。

私は紹介されたとおり農林水産省にあたる農業大臣をやった時期がありますので、このワインフェスティバルとか、リンゴフェスティバルとか、プルーンフェスティバル、あとはちみつも有名なもので

ので、いろいろ企画を実行しました。それからずっと続いています。

これは、冬の風景です。このように雪が降りますし寒いですが。また色んな伝統があるので、年末の祭りとか子どもたちの行事など、日本と似ています。

キリスト教には復活祭という祭りがあります。その時は、卵に色を塗ったりする習慣があります。

特に燻製料理が有名で、薪として使っている木はチェリーの木とか、葡萄の枝とかで煙がとっても食材を美味しくします。

皆が好きな物で、サワークリームというものがあります。日本ではなかなか手に入りません。日本で売られているサワークリームはちょっと違います。生クリームが発酵されたという物です。料理につけたりして食べます。

昨年の夏に、文化交流事業の一環として、我々が鶴岡市のFOODEVERでモルドバ料理の教室を開きました。大人と子ども達数十人が参加し、レシピを持ち帰ってくれました。今回は、別のホテルに泊まったのですが、そこでモルドバ料理が出てきて鶴岡でモルドバ料理が出たことにとってもびっくりしました。家の味にそっくりでした。

これは、スープです。ちょっと酸っぱい「ザアマ」と言われるものですが、モルドバに来たことがある日本人に一番受ける料理です。これを朝から食べることができました。

こういう風に、映像だけで、一つの国を紹介するのはとっても難しいですが、是非今度モルドバのワインフェスティバルに来て下さい。私たちもこの映像で見られるように、同じおもてなしの心、日本人も素晴らしいですけど、私たちもゲストを出迎えるのは好きですので是非来て下さい。伝統的にお客さんが来る時にはパンと塩とワインで待っています。ご清聴ありがとうございました。

ちょっとしたお土産があります。これは記念プレートです。モルドバではさっき言ったとおり葡萄の栽培が盛んでワインが有名ですので、どうぞ記念として受け取って下さい。



委員会報告

◆ゲスト

ブマコフ・ヴァシレモルドバ日本大使他の皆様

スマイル

菅原成規君 ブマコフ大使、一昨日の大山新酒まつりに参加していただきありがとうございました。

武田啓之君 ブマコフ大使スピーチありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

高山裕司君 誕生日が1月1日でご縁を感じました。貴重なお話ありがとうございました。